



ずしタイムズ

逗子小学校区の
自治会・町内会
地域の取り組みを
ご紹介

Vol.4 2018.7.1

ずし子ども土曜食堂始まる

地域での世代を超えた交流の場でありたい



沼間コミセンや池子の体験学習施設で運営されているずし子ども0円食堂の取り組みが、ずし子ども土曜食堂として逗子小学校区でも今年の4月からオープン。

運営の代表である草柳さんに取り組みへの思いを伺いました。

子ども食堂への思い

主任児童委員として子どもたちを見守ってきた草柳さん。経済的な事情で満足に食事ができない子どもや、一人で出来合いの食事をする環境を知っても、プライベートな問題で踏み込めないジレンマを感じていました。

東京都豊島区のこども食堂の取り組みを知って、長年携わった食生活改善のボランティア経験から自分でもやってみようと思いつき、周りの仲間に向けて声をかけて、ずし子ども0円食堂プロジェクトを立ち上げて活動を始めました。

地域のコミュニティを育てる場になってくれたら

2年間、ずし子ども0円食堂の活動を続けて感じていることがあるという草柳さん。

経済的な家庭の事情や“孤食”を意識して始めた取り組みだが、それだけではなく、この活動が地域のつながりの場にもなっているということ。

「参加した人がお互い顔見知りになって、地域の大人が子ども達を見守るということは、地域で成長する子ども達にとっても、すごく大事なことだと思います」

ずし子ども0円食堂プロジェクトが運営する沼間や池子の活動の他、久木や小坪でも子ども食堂の取組みが広がっています。

子どもの居場所や地域がつながる場を広げたいという思いをもって、逗子小学校区でもスタートしたずし子ども土曜食堂。地域の笑顔を支える取り組みは、今日も続きます。

DATA

▼名前
ずし子ども土曜食堂

▼場所
逗子小学校
ふれあいスクール

▼開催日
毎月第2土曜日
10:00~13:00

▼参加費
子ども無料、大人300円



子ども達も
一緒にお手伝い▶



▲ずし子ども0円食堂
プロジェクトの皆さん



▲みんなで楽しくわいわいと

◀愛情いっぱいできたてカレー

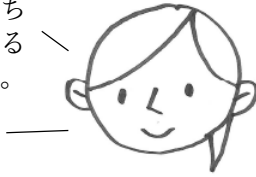


「ずしタイムズ」は、逗子小学校区の自治会・町内会等の活動を紹介することで、皆さんの地域活動を応援します。

参加した人たちの声

今日は子どもの友達のママと一緒に参加しました。

家族やママ友と食べるご飯とも違い、子どもが地域の人たちや異年齢の子どもと触れ合えるのがいいところだと思います。
(参加したお母さん)



▲保護者の方が、何かできることはないかと考えてつくった「オリジナルのれん」の贈呈！

プロジェクトのスタッフとして参加していて、逗子小に通う子どももいます。

ずし子ども土曜食堂はまだ始まったばかりですが、今後広がりが出てくるといいと思います。(運営スタッフ)



友達とわいわい食べるとおいしい！
来月もまたきたい。
(参加した子ども)



こんなことやっています 逗子小学校区

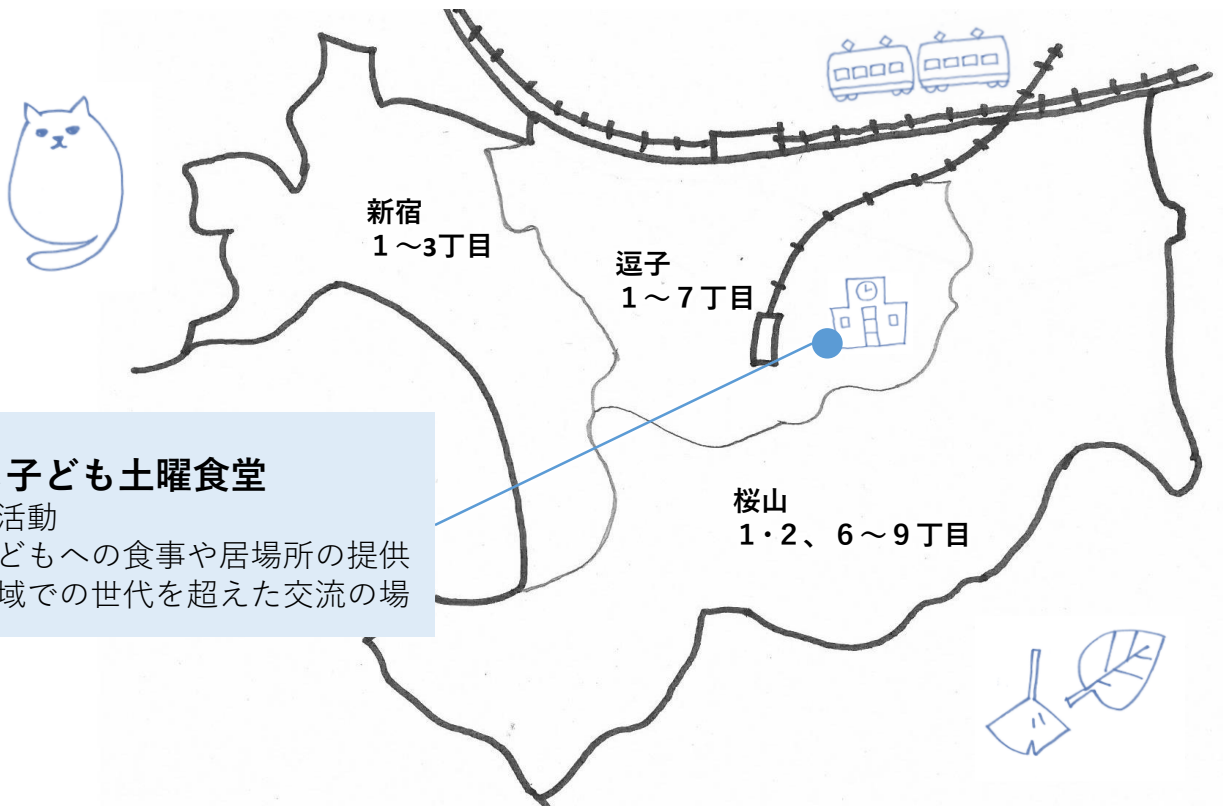


桜山ブロック準備会では、月1回集まって勉強会を開催して地域の課題を話し合っています。どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひ！

日時 平成30年7月19日(木) 19:00~20:30

場所 桜逗会館

4 小学校区で
住民自治協議会活動中
地域活動のヒントが
あるかも



ずし子ども土曜食堂

主な活動

- ・子どもへの食事や居場所の提供
- ・地域での世代を超えた交流の場